

虐待対応プログラム

BEAMS Stage 1 (WEB)

キリませんが、

令和6年度診療報酬改定で小児かかりつけ診療料の見直しが行われ、届け出要件の「虐待に関する適切な研修」に BEAMS Stage 1 が推奨されました。

日本子ども虐待医学会では、より多くの方にご受講いただけるよう、オンライン（Zoom）で開催しております。

第25回

日時：**2026年4月27日(月)** 19:00~20:30

講師：古野 憲司（福岡赤十字病院）

参加費：2,200円（税込）

第26回

日時：**2026年5月29日(金)** 19:00~20:30

講師：毎原 敏郎（兵庫県立尼崎総合医療センター）

参加費：2,200円（税込）

第27回

日時：**2026年6月30日(火)** 19:00~20:30

講師：丸山 朋子（大阪急性期・総合医療センター）

参加費：2,200円（税込）

《研修医向けBEAMS Stage 1+α》

講義は、用語解説等を丁寧に行ない、通常より長い75分です。虐待に関する用語の解説や、医療機関内での虐待対応の仕組みをより丁寧に行います。

研修医向けとしていますが、どなたでもご参加いただけます。

①**5月 7日(木)** 19:00~20:45

参加費：2,200円(税込)

②**6月11日(木)** 19:00~20:45

講師：米山 法子（加賀谷記念小松こども医院）

お申込みは：<https://beams.jamscan.jp/event/>

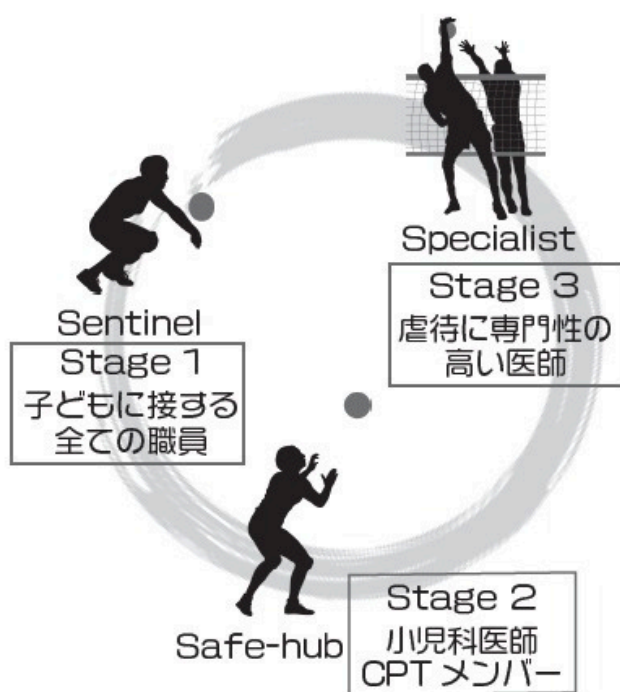
【お問い合わせ】日本子ども虐待医学会 TEL：0463-95-4166





皆で虐待の問題に光を当て
崩れゆく家族を梁のように支え
子どもに心からの笑顔を取り戻してほしい

*beam=光の束、梁、心からの笑顔



Stage 1:

虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel（見張り番）となる。

Stage 2:

虐待の可能性のある子ども／親との接し方の基本を学び、地域と家族を適切に繋げる（安全の架け橋：Safe-Hubとなる）こと、ならびに急性期に求められる医学的検査・カテゴリー診断ができるようになる。

Stage 3:

専門医師として求められる対応を、ロールプレイなどを通し積極的に理解し、実践的対応能力の向上を目指す。Stage3の修了者は、地域での虐待対応の推進役となることが期待される。

Stage 1 受講者	31,316 人
Stage 2 受講者	8,882 人
Stage 3 受講者	450 人

子ども虐待対応の
共通言語として
全国に広がっています

*2025年5月現在

2つの開催方法

招へい型：医療機関や地域（行政など）から講師派遣を依頼いただく
センター型：日本子ども虐待医学会主催で開催

開催依頼・開催情報や参考資料などはHPへ！
<https://beams.jamscan.jp/>

